室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置実施計画（案）地域説明会での意見・質問と回答内容

1　日時：令和５年７月１２日（水）　１８：３０

2　場所：羽根小学校

3　市出席者：百田教育長・山本教育次長兼学校教育課長・村上課長補佐・高崎班長

4　参加者数：１３人

No.	発言内容	回答内容
1	○中学校を１つにするのはあまり効果がないと思う。せめて羽根、吉良川に一つ、後は向こうに固めてもえいと思う。複式になって先生が限られると、先生はどっさりいる。インターネットとかいろいろなやり方でできる。一番大事なのは健康で、素直に育ったらよい。	○やはり地域へ学校を残してほしいという声は他の地域でも出ている。教育委員会の考えは、小学校は、本来市が望む規模にはなっていないが、地域に１つ残しておく。但し中学校については一定の専門的な勉強も入ってくる中で、複式学級になって専門外の先生が教えるという状況は避けたいと考えている。室戸の中学生には望ましい規模での教育の環境を作ってやらなければならないという考えである。
2	○先生はどっさりおる。柔軟にやってもらったらいい。	○学校に配置できる先生の数は学級数によって決められるので、例えば複式学級になって、１つの学校で２つの学級しかない学校は、６人という決まりがある。
3	○子どもが減りゆうという認識はあったが、実際どれくらいの数字になるかはわからなかった。子どもが減ってクラブの選択もない、もっと先が心配。室戸市に１校になるのはやむを得ない感じ	○令和１０年度以降、１１年度が１７人、１２年度が２１人、１３年度が２２人、１４年度が１７人、　１５年度が１４人、１６年度が１２人で、１年生が一人になるのが今の出生状況から考えられる状況です。
4	○スクールバスの時間帯とか、学年によって違ってくるので、そういうところをちゃんと割り振ってもらえたら安心できる。	○今まで、自転車とかで通えた地域がスクールバスで通わなくてはいけない中で、スクールバスをどういう形で走らすのかはすごく大事なところです。基本的には、スクールバスを活用して負担の少ない形は考えていく。学校のあり方検討委員会の中で、それぞれの地域の方のご意見を聞いてその地域にあったスクールバスの運行の形は作っていく。
5	○羽根小学校は羽根中学校への跡地へ移転を検討とあるが、統合した後大分先になるのか。	○中学校については、令和１０ねどからということで方向性は決まっているが、小学校については、令和１０年度中に移転できるようにて前から校舎を小学校用に回収するとか、そうした整備は行っていく。羽根小学校は南海トラフ地震を考えたら、大変厳しい状況ですので、早く上へ上げるというところは考えていく。